

高専機構理事長懇談、団体交渉を実施 ～51高専、約1万人の学生は堅持し、きちんと育てる～



全大教からの出席者：岩崎議長、岡本副議長、本多事務局長、永井幹事、山本幹事、長山書記長
高専機構からの出席者：谷口理事長、豊岡理事、土生木事務局長、粒来人事課長、佐々木人事係長

高専協議会 2019年2月28日

理事長懇談で谷口理事長は、第4期中期目標・計画期間における高専機構の目玉として3つの目標（①教育に関する目標、②社会連携に関する目標、③国際交流に関する目標）にすることや、今後の高専機構のあり方について説明を行いました。

理事長懇談く効率化係数廃止等を要求

懇談冒頭では、「高専教育の質の保証としてモデルコアカリキュラムが平成30年度から完全実施しており、全体の2/3がコアカリキュラムとして行われているが、残りの1/3は各校で地域・特色を活かした内容を実施して欲しい、特に人口減少が続く中で51高専、約1万人の学生は堅持し、きちんと育てるために、各地域で特色を活かすことは51高専の必要性を裏付けるものになる。」という説明をしました。

また、概算要求で運営費

団体交渉く教員の人員枠整理撤回等

理事長懇談の後に開催した団体交渉では、機構本部から「海外に在勤する教職員の処遇に関する規則制定」と「年次有給休暇の時間指定に関する規則整備」の2件について、高専協議会からは「第4期中期目標・計画期間における教員の人員枠整理について」、「祝日特例法により休業日となる日の対応について」など5件について協議を行いました。

高専機構本部が提案した

全大教新聞

2019年 4月10日

第358号

【発行所】

全国大学高専教職員組合
(略称・全大教)



[PDF版 (全面カラー)]
http://zendaikyo.or.jp/?page_id=107

[電話] 03-6802-4250

[HP] <http://zendaikyo.or.jp/>

[所在地] 〒110-0012
東京都台東区竜泉
2-20-15 都築ビル2階

* 組合員の購読料は
組合費に含まれて
います (一部30円)

今月の紙面

2 病院協議会・文科省(大学病院支援室)会見
無償教育を求める市民報告書をつくる会結成
全国書記研修会開催
【論壇】「守りたいもの、ボルネオの奥地で
学生たちと考えたこと」
信州大学学術研究院全学教育機構教授
金沢謙太郎(かなざわけんたろう)

3 職場のQ&A(II)「昇格改善のはなし」
4 単組からのレポート
松江高等専門学校「労働環境の改善は
組織率向上がアツてこそ」
山口大学「大学院手当・特別貢献手当
支給基準改定問題に対する取り組み」
わたしひとこと

病院協議会

2019年3月6日、医師・看護師等の医療職員の大幅増員を求めて、医療三単産(全大教・医労連・自治労連)の共同による国会議員要請を行いました。

「働き方改革」が言われる中、医師の時間外労働の上限規制については、5年の猶予期間が設けられています。その間の上

「働き方改革」が言われる中、医師の時間外労働の上限規制については、5年の猶予期間が設けられています。その間の上

医療三単産 国会議員要請

も、政府や厚労省の発言などを踏まえて要求しましたが、政府関係の内容などを十分に確認してから引き続

き機構本部で検討を行うことになりました。交渉の最後に、今後の団体交渉における提案内容の

説明や簡単な質疑応答などについて、WEB会議などを活用した事前説明の可能性を検討することで双方が

確認しました。

(高専協議会事務局長 本多将和)

善が大きな課題となっています。

命と健康を預かる医療職員が自らの命と健康を壊すようなことがあってはならないのは当然のことです。安全・安心の医療を実現するためには医療職員が健康で安心して働くことができない環境整備が欠かせず、そのためには大幅な増員が必要です。

昨年から始めた新たな国会議員署名と紹介・賛同議員を増やす取り組みは、半年ですでに約90人の紹介・賛同議員を得ています。医療三単産では、大幅増員の国会議員採択に向けて引き続き取り組みを強化していくこととしています。

全大教からは、病院協議会幹事と担当中執が参加し、全大教を代表して山城美奈子病院協議会幹事(琉球大学附属病院)が国立大学病院の現状と組合の取り組みなどについて報告を行いました。

(書記次長 永井信)



星陵会館で行われた全体集会で報告をする山城病院協議会幹事

「働き方改革」の為には大幅増員が必要！

全国の医療現場から300人の組合員が参加